

令和 6 年度第 2 回小牧市少年センター運営協議会 議事要旨

【日 時】 令和 7 年 2 月 2 0 日（木） 午前 1 0 時～午前 1 1 時

【会 場】 小牧市役所本庁舎 4 階 4 0 2 会議室

【出席委員】 安藤会長、田口委員、瀬尾委員、丹羽委員、小川委員、河内委員、
船橋委員

【欠席委員】 林委員、川崎委員、宮本委員

【事務局】 川尻こども未来部部長、小川課長、植松少年センター所長、杉浦副所長
千種指導員、若林係長、上條

【ワザパー】 山田主幹（市民安全課）、瀬尾指導主事（学校教育課）

【傍聴者】 なし

1 あいさつ （川尻部長）

皆様には、日ごろから青少年健全育成に格別の御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今般はスマホ利用の低年齢化に伴い、ネット上のいじめや闇バイトなど、知らないうちに子どもが犯罪に巻き込まれる危険性が大きな社会問題となっております。

また、不登校児童の増加など、青少年の抱える課題、問題は社会の変化とともに日々変化し、複雑化しておりますが、少年センターでは、少年の非行や被害を未然に防止し、青少年の健全育成を図るため、街頭パトロールや市民への啓発活動、相談事業などの活動をしております。

今後も、様々な課題の解決のために、関係機関と連携を密にし、青少年の健全育成の推進に努めてまいりたいと考えております。

本日は、今年度の事業経過報告と来年度の運営計画の案を議題としておりますので、皆様からの忌憚のないご意見をお願いいたしまして、簡単ではございますがいさつとさせていただきます。

（安藤会長）

日頃より子どもたちの健全育成のためにお力添えをいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨日、応時中学校区で愛のパトロールがあり、浜井場公園には 30 人ぐらいの子どもたちが楽しそうに遊んでいました。

北外山中央公園では、南小学校の子どもだと思い声をかけたところ、春日井から来ましたということでした。近くの牛山小学校の子どもかと思いますが、パトロール中と分かるベストを着ていても、警戒して学校名を言うことはありませんでした。

暗くなる前に早く帰るように声をかけましたが、市内のいろいろな場所で日常的な声かけが子どもたちの健全育成に繋がっていくのかなと思っております。

本日は、今年度の事業経過と次年度の運営計画案について、ご審議いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

2 議題

- (1) 令和6年度事業経過について
- (2) 令和6年度補導活動状況について
- (3) 令和6年度相談受理状況について
- (4) 令和6年度青少年健全育成モニター活動状況について

○資料に基づき少年センターより説明

【質疑応答】

(小川委員)

中学生の喫煙について、資料には公園で中学生が喫煙していたので、学校から注意・指導したとありますが、こういった対処をしているかお聞きしたいです。

(事務局)

中高生の喫煙に対しては学校名がわかれば学校に報告し、あまりにもひどい場合は警察へ通報することもあります。基本的には吸ってはいけないという声かけと早く帰るように促すよう対応しています。

(瀬尾委員)

交通マナーについては、高校でもヘルメット着用について指導しており、今年度の入学生からヘルメットを持っていることを自転車通学の条件に加えました。

持っていても被らない生徒もいますので、登下校時に校門で呼びかけるようにして、被っている生徒が増えたなど思った時期もありましたが、今は横ばいの状況と感じています。

(河内委員)

ヘルメットは今も昔のような白いものを使用することになっていますか。

(瀬尾委員)

推薦している製品はありますが、購入費の補助を出している自治体もあるので、その場合には自治体の指定する要件にあったものを買ってもらっています。

(安藤会長)

話を聞いていると、デザインがかっこ悪いから被らないということではなく、被っていた方が頭を守ってくれるという意識が薄いために被らないのかと思います。

- (5) 令和7年度小牧市少年センター運営計画(案)について

○資料に基づき少年センターより説明

(丹羽委員)

ネット犯罪、ネットトラブルについては、現在、非常に多くの相談と事件があり、大きな課題だと考えています。警察としても、各学校や教育委員会と連携をさせていただきながら、活動していますが、なかなか追いついていないというのが現状です。委員の皆様、学校関係者の皆様にも、各機会をとらえて対策をお願いしたいと思います。

(安藤会長)

SNSに関しての実態については把握できていますか。

(事務局)

大きな問題があった際には、生徒指導連絡協議会の中で事例の把握をしています。

これまで1番心配していたのは、子どもにスマホを使わせる場合、被害者にならないようにということでした。今は知らないうちに加害者になってしまっている事

例もありますので、そちらについても指導内容に入れていかなければいけないと考えています。

（安藤会長）

学校ばかりに頼ってはいませんが、PTA が主体的に実施をしても、年 1 回 PTA 総会に講師を招いて講演してもらうくらいになってしまうので、やはり頼りになるのは学校の事業の一環として進めなければ効果が薄いかと思います。

中学校の立場としては、学校教育の中でどのように取り組んでいますか。

（田口委員）

子どもたちに向けて指導するだけでなく、保護者に向けても警鐘を鳴らしていかなければいけないということで、対応を進めている学校が多いと聞いています。

例えば、中学校の入学説明会や入学式の折に、保護者向けに外部から講師を呼んでお話をしていただく、生徒に向けても、警察や民間の携帯電話会社をお願いをして、複数回教育を行っています。

○原案のとおり承認

3 懇談

（小川委員）

補導状況について、小牧署に寄せられたトラブルなど、可能な範囲でお聞きできますか。

（丹羽委員）

令和 5，6 年の補導件数を比較しても大きな差はありませんでしたが、コロナ禍前と比較すると大きく増えました。特に多いのが深夜はいかいと喫煙で、補導した際には基本的には保護者に連絡する措置をとっています。

また、ネット上の影響を受けて、夏休みなどの長期休暇中に他県へ行ってしまう、対応に苦慮しながら保護するといったこともありました。

（瀬尾委員）

高校としても子どもだけでなく保護者にも危険性を理解していただく必要があると思います。

新入生のオリエンテーションの際には、ほぼ全ての保護者がそろうので、講師を招いて生徒と一緒に指導していくのが望ましいと思います。

また、国の動きをみると、現在、生徒に貸与しているタブレットについては、今後推奨品を購入してもらうことになるかと思います。そうすると今まで以上に自由にネット接続できるので、より一層力を入れていかなければいけないと思います。

（田口委員）

県内でもわいせつな画像を拡散させる、させられるという事例が多発していて、犯罪に関わるような問題に発展していることもあると聞いています。

不登校についても、校内サポートルームを設けて対応を進めていますが、子どもによって原因がそれぞれ違うので、対応が大変な面があります。不登校イコール引きこもりではなく、学校には行けなけれど夕方友達と遊びに行くのはできる子やネットを通じてゲーム内でもコミュニケーションが取れる子もいます。

そういったこともあって、学校に行かなくてもいいやという気持ちになるのかと思い、どうすれば不登校が解決していくのか我々教員も常々考えています。

（河内委員）

以前は学校では挨拶をしてくれても近所では挨拶してくれない子が多い印象でした。それが最近は学校の外で知らない人にも挨拶してくれるようになって、10年間あいさつ運動を続けてきたことで、生徒たちの身についてきたと感じています。

（安藤会長）

市で策定中のこども計画の中に、放課後などに気楽に児童館に立ち寄り、自由な時間を安心して過ごすことのできる居場所づくりを進めます、というものがあります。先ほど田口委員が言われたように、引きこもりではないけれども学校には行けない、そんな子が児童館で勉強しようかと思って、昼間から児童館に行くというのは、この事業の趣旨から外れますか。

（事務局）

現在こども家庭庁が、こどもの第3の居場所として児童館や児童クラブなどを活用することを謳っています。

市といたしましても、不登校の子どもが増えていて、学校に行ける子もいれば学校に行けない子もいる中で、学校に行けなくても社会と何らかの形で繋がっていた方がいいと考え、児童館に行くというのも選択肢の1つとしてありますよ、というものです。

これまで学校としては、授業がある時間に児童館に行ってもいいとは、言えなかったかと思いますが、児童館としては、学校に行けなくて家で閉じこもっているぐらいであれば、児童館に来てください、という形で事業を進めていきたいと考えています。

こちらについては、教育委員会とも調整し了解を頂いており、先日も校長会で案内をさせていただいたところです。

（安藤会長）

心配なのは、子どもがこの時間に来るのはおかしいだろうと思って、児童館から学校に行かないといけないと言われてしまうと、多分その子は児童館にも行けなくなってしまうと思います。

利用する子が増えることが良いかという問題はありますが、温かく受け入れてくれるように対応してもらって、それが学校へ行けるよう繋がっていけばいいかと思っています。

（事務局）

今でも、学校に行けないけれど児童館なら、ということで来る子も何名かいます。そういった場合は、学校と連絡を取り、日々の様子などもお伝えしながら対応していく形をとっていますので、今後も力を入れていきたいと思っています。

4 連絡依頼事項

令和6年度のスケジュールについて連絡